

事務事業名	守矢史料館運営事業	事業期間	1991 ~	年度	係内番号	11
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業								
		実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実								
		計画名称	01	教育大綱	0301	社会教育の推進								
予 算 事 業 名	守矢史料館運営費				会計コード	01	款	10	項	05	目	09	事業	01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	守矢史料館を日常的に運営していくために、職員を雇用し、館の運営のために守矢史料館専門委員に活動方針を諮り、来館者の利便のために印刷物を作成し、販売を行う事業。													
	守矢史料館の来館者や地域住民のために、守矢史料館と周辺の歴史への理解を深め、守矢文書と諏訪の歴史を知ってもらうための一助とする。													
	守矢史料館の来館者や地域住民のために、守矢史料館と周辺の歴史への理解を深め、守矢文書と諏訪の歴史を知ってもらうための一助とする。													
目的	受益者 (誰のために)	来館利用者・地域住民												
	対象 (直接働きかける)	図書を作成し、来館者に働きかける。												
	意 図 (どんな状態にしたいか)	来館者や地域住民に図書を販売し、守矢史料館と諏訪の歴史への理解を深めてもらう。												
手段・方法 (どうやって)	図書を作成し、販売を行う。													
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		1	図書の販売数	冊	守矢史料館展示解説書・周辺案内書等の売上収入				771					
		2		円										
		3												
	変更履歴													
	成果指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		1	図書販売額前年度比	図書販売数	%	今年度の図書販売額／前年度の図書販売額				100				
		2												
		変更履歴												

実 施 状 況	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業費等(a)	円	4,101,728	4,569,065	4,164,000		
		国庫支出金	円					
		県支出金	円					
		地方債	円					
	活動指標	その他特定財源	円	1,354,280	1,334,780	1,350,000		
		一般財源	円	2,747,448	3,234,285	2,814,000		
		守矢史料館展示解説書・周辺案内書等の売上収入	冊	771	887	620		
			実績	冊	887	744		
			達成率	%	115.05	83.88	-	-
	成 果 指 標	目標	円					
		実績	円					
		目標	%					
		実績	%					
		達成率	%					
備 考	目標	%	100	100	80			
	実績	%	115	84				
	目標	%	115.05	83.90	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	-	
新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月5月の約2月休館したため、2020年度各目標数値は、休館期間の割合で除して昨年度より下げた。								

事務事業名	守矢史料館運営事業	事業期間	1991 ~ 年度	係内番号	11
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係 (ハヶ岳総合博物館)	連絡先	73-0300

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	析	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度以上の売り上げがあった。</li> <li>入館者数が平成29年度よりも増加しているため、図書購入者が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ数年、入館者数は増加しているが、平成30年度に比べ図書販売冊数、売上金額とも減した。</li> </ul>		
価値	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>刊行物の内容は、諏訪大社と守矢家の歴史に関することであるため、諏訪の歴史に興味のある来館者が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度末に発行となった「御渡」は47冊販売できた。</li> </ul>			
	総合評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者が減少すると、図書販売数も減少するので、今年度刊行した、『御渡』の図録のような、新たな刊行物を作成する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数が年々増加しているので、図書購販売数が比例するようにしたい。新たな刊行物の発行も今後検討してく。</li> </ul>			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	翌々年度方向性コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者に、図書のアピールをし、販売数が減少しないようにしてゆく。</li> <li>売り切れたら内容を見直し、更新していくことにより、目新しさを出していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページでの図書の紹介の継続するとともに、来館者に、図書のアピールをし、販売数が増加するように努める。</li> <li>売り切れたら内容を見直し、更新していくことにより、目新しさを出していく。</li> </ul>			
	策び容					
作成担当者	柳川英司	両角勝元				
最終評価責任者	両角勝元	五味建志				
最終評価年月日	元.5.17	2020年7月3日				

事務事業名	守矢史料館史跡整備事業	事業期間	2019 ~	年度	係内番号	12
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実		

予 算 事 業 名	守矢史料館史跡整備事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	09	事業	04
-----------	--------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

**事務事業の概要**  
（簡潔にわかりやすく）  
 神長官守矢家は、諏訪大社上社の五官の筆頭として、代々祈禱と政務事務を掌握してきた歴史がある。守矢邸のある敷地には、「神長官邸遺跡」をはじめ、「神長守矢家祈禱殿」、「神長官邸のみさく神境内社叢」など、諏訪信仰の継承と権威づけに深く関わる文化財群がある。また、守矢邸主屋や庭園も価値があり、茅野市の宝として重要な場所である。所有者から、これらの土地、主屋等を市に譲渡したい意向が示されているため、公有化を行い文化財の維持管理保護を進める事業。

**現状と背景**  
（どうして）  
 神長官守矢邸・屋敷所有者と具体的に公有化に向けた協議を実施中。

目的	受益者 <small>（誰のために）</small>	市民・来館利用者
	対象 <small>（直接働きかける）</small>	守矢邸・屋敷所有者
	意図 <small>（どんな状態にしたいか）</small>	貴重な文化財を茅野市が所有し安定した維持管理を行う。

**手段・方法**  
（どうやって）  
 公有化のため、令和元年度は土地鑑定評価を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	土地鑑定評価	土地鑑定評価	回	鑑定評価回数
	2	土地公有化交渉事務	公有化交渉事務	件	公有化交渉事務	1
	3					
	変更履歴					
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	土地鑑定評価額の算出	算出件数	件	算出件数
	2	土地公購入	土地購入	件	土地購入	1
	変更履歴					

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
								事業費等(a)
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円			24,800,000			
	一般財源	円		227,880	2,830,000			
活 動 指 標	土地鑑定評価	目標	回		1			
		実績			1			
		達成率	%	-	100.00	-	-	-
	公有化交渉事務	目標	件			1		
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	-
-	目標	-						
	実績							
	達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	算出件数	目標	件		1			
		実績			1			
		達成率	%	-	100.00	-	-	-
	土地購入	目標	件			1		
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	-
備 考	活動指標、成果指標とも令和元年度は次年度土地購入のための予算確保事務等を指標とし、令和2年度は土地購入事務等を指標とする。							

事務事業名	守矢史料館史跡整備事業	事業期間	2019 ~	年度	係内番号	12
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係 (ハヶ岳総合博物館)	連絡先	73-0300	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析			2019年度新規の事業であり、予算額100%増の事業。		
価値（CHECK）	成果		鑑定算定額を、次年度の土地所有者との公有化の協議資料、公有化のための支払い額の根拠として協議を進められる。			
	総合評価		次年度中に公有化できるよう、土地所有者との協議を進める。			
改革・改善の方向性（ACT）	課題					
	翌々年度方向性	成果	現状維持			
		コスト	縮小			
	改革の方向性の内容	策び容	次年度は、土地所有者と公有化の協議と公有化を行う。公有化実施後、翌々年度からは施設の維持管理経費等を計上する必要がある。			
作成担当者			両角勝元			
最終評価責任者			五味建志			
最終評価年月日			2020年7月3日			

事務事業名	守矢史料館展示事業	事業期間	1991 ~	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策 番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進	実行計画の 施策の 柱におけ る指標と の関連度	高	
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業			
		実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実			
		項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称			
予 算 事 業 名	守矢史料館展示事業費				会計コード	01 款 10 項 05 目 09 事業 03			
事 務 事 業 の 概 要 (簡潔にわかりやすく)	守矢史料館収蔵資料に関わる企画展を開催し、幅広い人に守矢文書を周知する。								
	現 状 と 背 景 (どうして)	守矢文書は通常、保存の観点から収蔵したまま、現品の写真展示となっている。そこでテーマを設けてそれに沿った企画展を開催し、守矢文書の重要性を認識してもらう。							
目 的	受 益 者 (誰のために)	来館者							
	対 象 (直接働きかける)	史料館収蔵資料							
	意 図 (どんな状態にしたいか)	多数の入館者を得たい。							
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	企画展の回数を年3回行い、企画展ごとに、ポスター・チラシを作成し、また、インターネットなどで告知し、企画展ならびに守矢文書の内容について告知し、展示する。								
評 価 指 標 の 作 成	活動 指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値			
		1	企画展を何回開催したか	企画展回数	回	開催回数	3		
		2	企画展来館者数	企画展来館者数	人	企画展中の来館者数	6,100		
	3								
	変更 履歴								
	成果 指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		1	企画展来館者数前年度比	企画展来館者数	%	今年度企画展中の来館者数 / 前年度の企画展中の来館者数	100		
		2	年間入館者数	年間入館者数	人	年間入館者の人数	12,000		
		変更 履歴	2019年度、成果指標に年間入館者数を追加する。						

実 施 状 況 （ D O ）	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
		事業費等(a)	円	164,268	57,348	145,000				
		国庫支出金	円							
		県支出金	円							
		地方債	円							
	活 動 指 標	企画展回数	目標	回	3	3	2			
			実績		3	3				
		企画展来館者数	目標	人	7,669	6,100	4,000			
			実績		6,022	6,689				
		-	目標	-	-	-	-	-		
			実績							
		成 果 指 標	企画展来館者数	目標	%	100	100	60		
				実績		79	111			
			年間入館者数	目標	人	11,000	12,000	10,000		
				実績		11,183	11,412			
目標	%			101.66	95.10	-	-	-		
実績										
備 考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月5月の約2月休館したため、2020年度各目標数値は、休館期間の割合で除して昨年度より下げた。									

事務事業名	守矢史料館展示事業	事業期間	1991 ~	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係 (八ヶ岳総合博物館)	連絡先	73-0300	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果動指要標因分～析		平成29年度の企画展時の入館者数は7,669人で、これは、年間4回企画展を行い、企画展期間が長期にわたったためである。平成30年度は29年度より下回ったが、企画展が3回であることによる。	平成30年度の企画展(年3回実施)時の入館者数は6,022人で、令和元年度も企画展(年3回実施)で実施時期と期間とも同程度であったが、年間入館者数の増加に伴い企画展来館者数も増加したと考える。		
価値	総合評価	・企画展を開催することにより、その都度ポスター・チラシを作成し、守矢史料館の存在をアピールすることができた。総入館者数は、昨年入館者10,012人を上回る勢いで入館者数が増加している(H31/3/31現在11,183人)。	・継続して企画展を開催すること、その都度ポスター・チラシを作成することで守矢史料館の認知度を上げていることができている。総入館者数は、昨年入館者11,783人を229人上回る勢いで入館者数が増加している。			
	課題	・企画展担当者が別施設の担当もしているため、守矢史料館の企画展だけに注力はできない。	知名度は高まりつつあり、郡外県外からの入館者が増えている。地元市民へのアピールもより力を入れる必要がある。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性の内容	企画展は都度広報の、ポスター等で開催を周知しており館のピーアールに貢献している。年間入館者数が増加しているため、増加傾向を維持していく。企画展をより魅力ある企画をして複数回行い、広報を行っていく。	広報の、HPでは年間通じて館を紹介して。企画展は都度広報の、ポスター等で開催を周知しており館のピーアールに貢献している。年間入館者数の増加傾向を維持していく。企画展をより魅力ある企画をして複数回行い、広報を行っていく。			
	策び容					
作成担当者	柳川英司	両角勝元				
最終評価責任者	両角勝元	五味建志				
最終評価年月日	元. 5. 17	2020年7月3日				